

センター試験 日本史B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問1	①宋(960年建国)ではなく、唐の影響を受けている。天平文化は盛唐文化の影響を受けた、国際色豊かな文化である。 ②濃絵は桃山文化。 ④錦絵は、鈴木春信によって創始された多色刷版画の浮世絵である。
	問2	a = 三味線ではなく、琵琶。『平家物語』を琵琶法師が語る芸能を平曲という。 d = ラジオ放送開始は、1925年(大正時代)である。
	問3	Ⅲ = 明治時代 ⇒ I = 1950年(焼損は1949年) ⇒ II = 1996年
	問5	dの一里塚とは、一里(約4キロ)ごとに置かれた道標である。ちなみにcの大湊は伊勢神宮の外港である。
	問6	①奈良盆地ではなく、大宰府北方である。
第2問	問1	①国司は中央官人が任命され、6年(のち4年)の任期がある官職。郡司はもと国造など、地方の有力豪族が任命された終身官である。 ③初期荘園は8世紀半ば以降(743年の墾田永年私財法発布)。 ④6世紀に反乱を起こした磐井は筑紫国造である。
	問2	④古代でいう布は麻のことである。木綿は室町時代、日朝貿易の主要な輸入品である。戦国時代～江戸初期に国内での木綿栽培が始まったことに注意したい。
	問3	a = これは「貧窮問答歌」である。以前のセンター試験でもこの史料を出題している。 d = 平安時代中後期以降のことである。史料が奈良時代なので、不適當。
	問5	X = 乙巳の変は645年のことであるから、グラフを見ればそれ以前に郡家がなかったことは、一目瞭然である。 Y = グラフを見れば、900年代前半から実線・破線ともに消え始めていることが分かる。
第3問	問2	Y = 御成敗式目の正誤問題としては王道である。御成敗式目は武家法であって、幕府の支配地域にしか適用されず、律令や公家法を否定するものではない。
	問3	②足軽が鉄砲隊に編成されるのは、戦国時代である。 ③女性の行商人の活躍時期は室町時代である。また、大原女は鎌倉ではなく京で活躍した。 ④借上は問丸の誤り。借上は鎌倉時代の高利貸し業者である。
	問4	II = 南北朝時代 ⇒ III = 源道義とは足利義満のこと ⇒ I = 足利義持(中断は1411年)
	問5	銀閣は上層が禅宗様で、下層が書院造。ちなみに金閣は上層が禅宗様で、下層は寝殿造。
	問6	①加賀の一向一揆は1488年のこと。 ②北条氏康ではなく、北条早雲である。 ③毛利元就が厳島の戦いで陶晴賢を滅ぼしたのは、1555年のことである。 ④桶狭間の戦いは、1560年である。
第4問	問1	「日用(ひよう)」とは日雇いのことである。また、大蔵永常の『広益国産考』は19世紀半ば(1844年)の農書である。
	問2	X = 備中鍬 Y = 千齒扱
	問3	Ⅲ = 林羅山は17世紀前半(家康に登用された) ⇒ II = 雨森芳洲から判断できなくても、木下順庵から文治政治の時期を判断すればよい ⇒ I = 尊王攘夷運動から幕末の19世紀を判断したい
	問4	①武士によって行われることはない。 ②村役人(村方三役)が全員、苗字・帯刀が許されたわけではない。むしろ許されるのは稀なことであった。 ③えたは、農業に従事することもある。
	問5	b = 札差(蔵宿)は、いわゆる高利貸を営む金融業者
	問6	X = 佐倉惣五郎は、江戸前期の代表的な義民の一人である

第5問	問1	<p>b = Xは台湾である。関東都督府は、ポーツマス条約で租借権を得た関東州統治のために1906年に設置された。</p> <p>c = Yは南樺太である。日露和親条約では樺太は両国雑居地とされ、1875年の樺太・千島交換条約で樺太はロシア領となった。そして、1905年のポーツマス条約で北緯50度以南の樺太は日本領となった。</p>
	問2	<p>①征韓論は中止となり、西郷隆盛は派遣されなかった。</p> <p>②日朝修好条規は不平等条約である。</p> <p>④日本ではなく、清に出兵を依頼した。</p>
	問3	<p>④1926～28年の移入高は増加、28～30年は減少している。一方、朝鮮米価格は1925～31年まで一貫して下落している。</p>
	問4	<p>①クラークは法律学者ではない。市制・町村制はドイツ人顧問モッセが助言した。</p> <p>②2～3行目に「地方の人民をして名誉の爲め、無給にして其職を執らしむるを要す」とあるので不適當。</p> <p>③3～4行目に「其地方人民の義務と爲す」とあるので正しい。</p> <p>④4行目に「地方の名望ある者を挙げて」とあるので不適當。</p>
第6問	問2	<p>b = 立憲政友会の高橋是清内閣の時（1922年）。</p> <p>d = 1933年のことで、斎藤実内閣の時。憲政の常道は犬養毅の暗殺で終了している。</p>
	問3	<p>Y = この憲法学説は、天皇機関説のことである。</p>
	問4	<p>①地方改良運動は、戊申詔書に基づき、明治末期に内務省主導で行われた。</p> <p>③防穀令は1889年に、朝鮮が日本に対し穀物の輸出を禁じたものである。これが後に甲午農民戦争の原因となり、日清戦争へとつながった。</p> <p>④「ぜいたくは敵だ」というスローガンから考えても奨励はない。</p>
	問5	<p>a = ひめゆり（学徒）隊は看護隊なので、食糧増産とは無関係である。</p> <p>d = 女子挺身隊は、未婚の女性を工場に動員するための組織であり、看護とは無関係である。</p>
	問6	<p>①保安条例は1887年に出された法令である。</p> <p>②保安隊は警察予備隊の誤りである。かつ、警察予備隊の目的は朝鮮戦争参戦のためではない。</p> <p>③朝鮮戦争が始まるとレッド＝パーズが始まった。</p>
	問7	<p>②日本社会党の再統一は、改憲を掲げる鳩山内閣成立がきっかけである。</p>
	問8	<p>II = 1948年の芦田均内閣総辞職のこと ⇒ III = 1955年の第五次吉田茂内閣総辞職のこと ⇒ I = 1976年の三木武夫内閣の時（前首相田中角栄逮捕）</p>